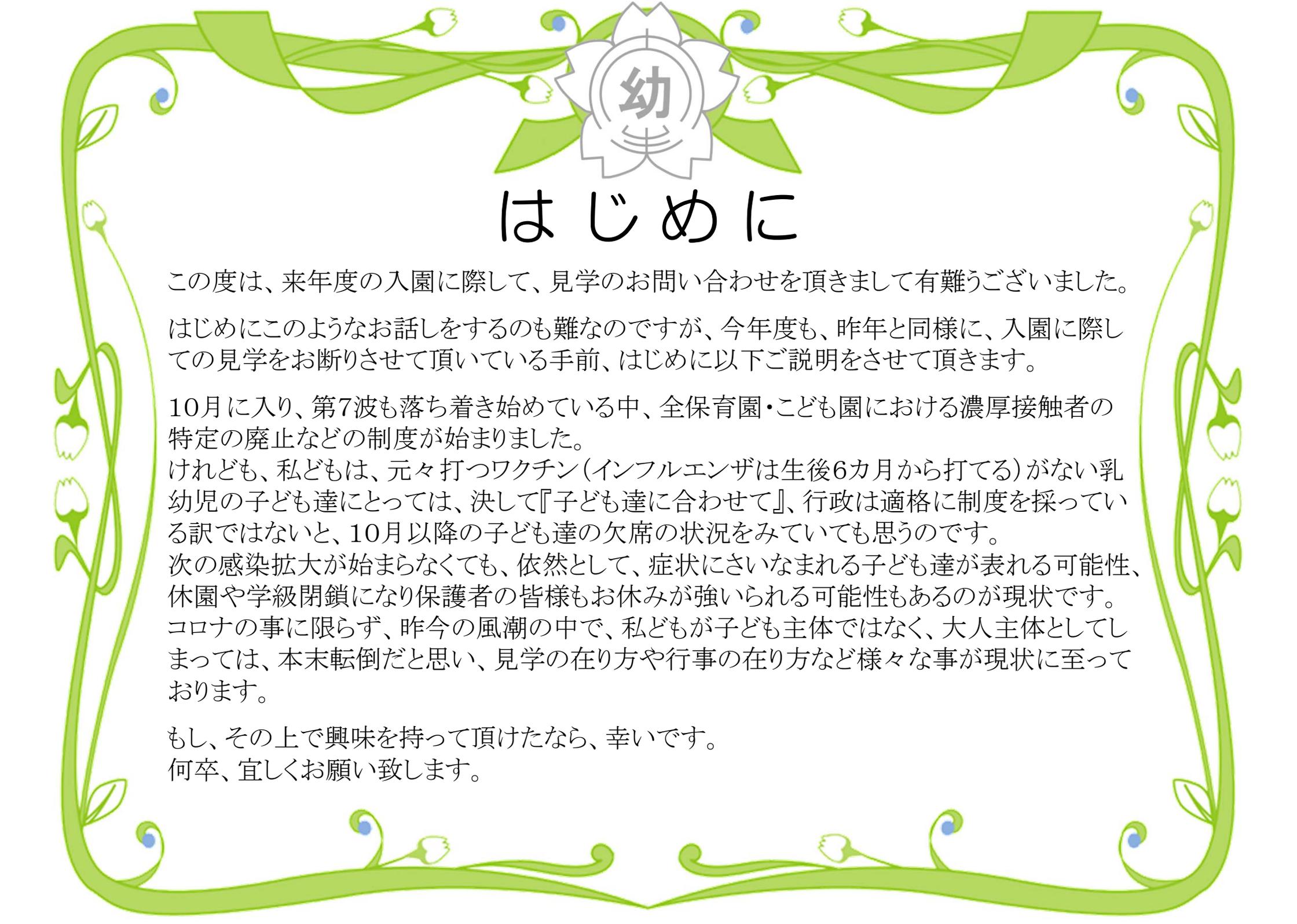


幼

大生幼児園
見学希望の保護者の皆さまへ



幼

はじめに

この度は、来年度の入園に際して、見学のお問い合わせを頂きまして有難うございました。

はじめにこのようなお話しをするのも難なのですが、今年度も、昨年と同様に、入園に際しての見学をお断りさせて頂いている手前、はじめに以下ご説明をさせていただきます。

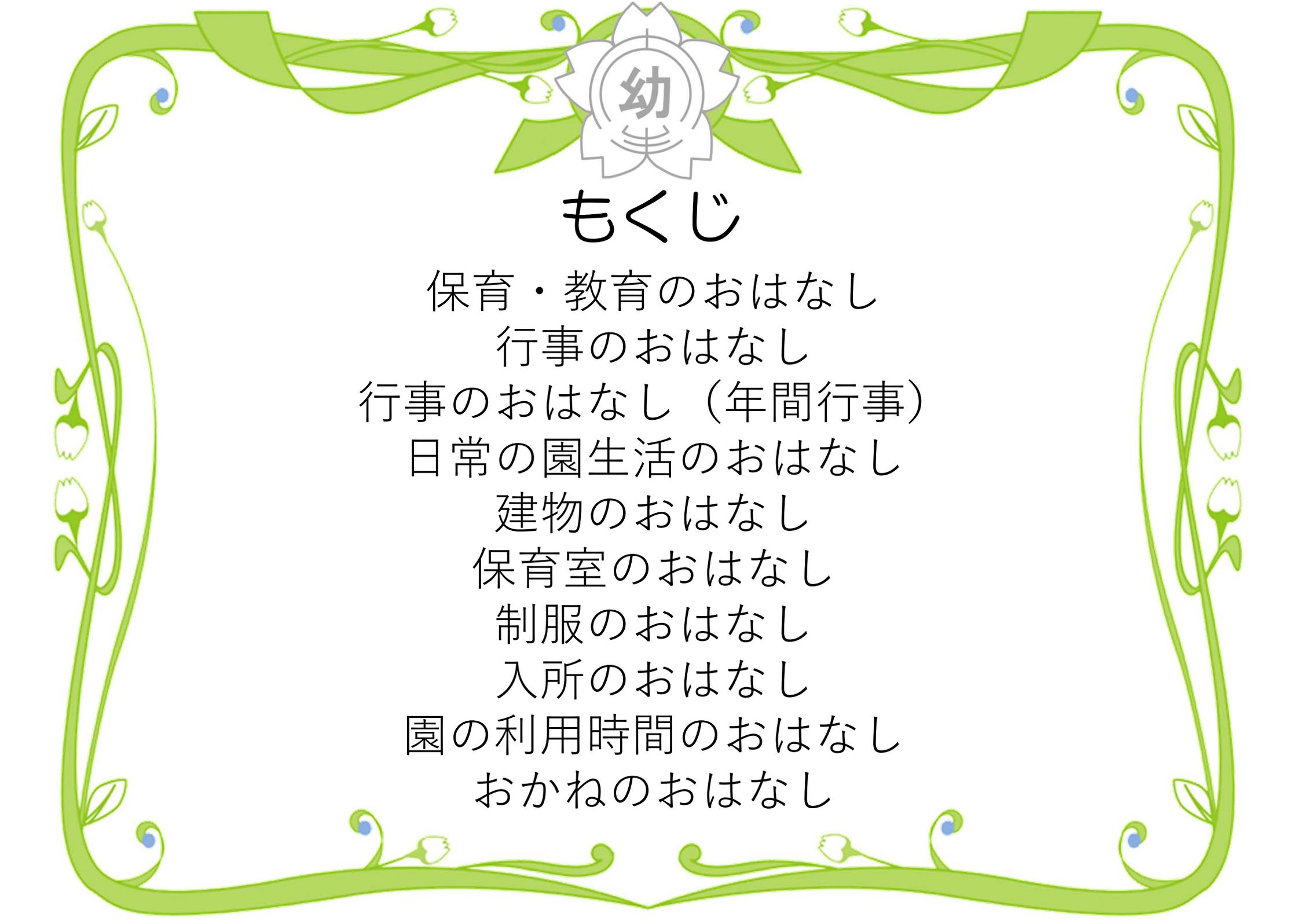
10月に入り、第7波も落ち着き始めている中、全保育園・こども園における濃厚接触者の特定の廃止などの制度が始まりました。

けれども、私どもは、元々打つワクチン(インフルエンザは生後6カ月から打てる)がない乳幼児の子ども達にとっては、決して『子ども達に合わせて』、行政は適格に制度を採っている訳ではないと、10月以降の子ども達の欠席の状況をみても思うのです。

次の感染拡大が始まらなくても、依然として、症状にさいなまれる子ども達が表れる可能性、休園や学級閉鎖になり保護者の皆様もお休みが強いられる可能性もあるのが現状です。コロナの事に限らず、昨今の風潮の中で、私どもが子ども主体ではなく、大人主体としてしまつては、本末転倒だと思い、見学の在り方や行事の在り方など様々な事が現状に至っております。

もし、その上で興味を持って頂けたなら、幸いです。

何卒、宜しくお願い致します。



幼

もくじ

保育・教育のおはなし

行事のおはなし

行事のおはなし（年間行事）

日常の園生活のおはなし

建物のおはなし

保育室のおはなし

制服のおはなし

入所のおはなし

園の利用時間のおはなし

おかねのおはなし

大生幼児園のおはなし

大生幼児園は、元は保育園でしたが、現在は幼保連携型認定こども園となります。

『幼児』園という名前は、小学校に就学したら保育園出身の子も幼稚園出身の子も同じ一つの部屋となるなかで、『もじ・かず、読み書き、生活習慣などの様々な面で差がないように・・・』という思いから付けられました。

ご参考までに...

・こども園は、簡単にいうと、幼稚園と保育園の良い面を活かしたものの。幼稚園は教育に特化したもの。保育園は基本的な生活習慣の獲得に特化したもの。いずれも昨今では、教育という面を重視しております。

こども園（幼保連携型・保育所型など）、保育所（小規模・企業型など）、幼稚園など、様々な種類の保育施設があります。

非営利団体（市立・社会福祉法人・宗教法人）、はたまた株式会社などそれぞれ運営の違いにより、園のカラーも異なってきます。大生幼児園は、社会福祉法人となります。

保育・教育のおはなし

<保育の目標>

丈夫な身体で思いやる心、自分で考える力を養おう。

<保育の方針>

- ・明るく、正しく、仲のよい社会生活の訓練
- ・思いやりの心・感謝の心の涵養
- ・丈夫で健康な身体作り
- ・安全教育の徹底
- ・自然環境の観察と理解
- ・情操教育による豊かなこころ・創造性の涵養
- ・もじ・かずへの興味・関心と知識の習得

コロナ渦の影響に限らず、何かと人と人との関係が希薄にせまくなりがちな今日ですが、様々な人達と想いを分かち合える・交友の幅を広げられる、そのための他人に対する思いやり、配慮や礼儀というのもその子の培っていくかけがえのない財産と私たちは考えます。また、身体能力、色彩感覚や音感を初めとした様々な能力も同時にその子の財産だと思えます。もじ・かずを初めとした小学校以降の学科教育の先取りだけではなく、様々な面での人間らしい豊かさを乳児の頃から健やかさを育てていけたらと願っております。

行事のおはなし

元々は、保育園であった大生幼児園。
お仕事の帰りも遅く、日頃たくさん子どもさんと接する時間もない保護者の方も中にはいらっしゃいます。
そのため、お子さんの日頃の様子に直に触れていただくため、
コロナ渦以前は、毎月、行事を執り行っておりました。
子ども達にとって、驚きや感動、心を揺さぶるものはいつまでも
記憶に残るものですし、何より学びや成長を促すものです。

そのきっかけとなればと、大生幼児園では小学校と同じく、1・2・
3学期と分け、各学期で発表会を行ってきました。
(1学期:七夕まつり、2学期:運動会、3学期:大生こども劇場)

新型コロナ感染拡大の影響のみならず、近年は地域の事情によって行事の削減、ストップがかかる事もありました。これは、全ての保育園・幼稚園においても云える事ですが、地域の方々のみならず、保護者の皆様のご理解とご協力もあった上で、私どももようやく園における様々な行事を進めていく事が出来ます。子ども達は、大人達の理解や応援、協力によって、行事にトライする機会も得られる事、どこかでご理解頂けると幸いです。

行事のおはなし（年間行事）

・1学期（4・5・6・7月）

夏休みは、1号認定（後述）の子は、お休みとなります。

月	日	曜日	予定行事
4	9	水	進級式
			入園式
5	中旬		保育参観（※令和3年度、ウィルス感染予防につき自粛）
	下旬		個人懇談会（※令和3年度、ウィルス感染予防につき自粛）
6	1	火	園外保育（年長組のみ）
	上旬		内科検診
下旬			プール開き
7	3	土	生活発表会『七夕まつり』
	21	水	終業式
夏期自由保育開始『夏休み』			

行事のおはなし（年間行事）

・1学期（4・5・6・7月）



入園式祝賀演奏



こどもの日



小麦の収穫（食育）



園外保育（ジャガイモ堀り）



みずあそび



七夕まつり

行事のおはなし（年間行事）

・2学期（9・10・11・12月）

冬休みは、1号認定（後述）の子は、お休みとなります。

8	19・20	木・金	おんたけ林間保育（年長組のみ）
	下旬		プールおさめ
9	1	水	始業式
			防災引渡し訓練（※令和3年度、ウィルス感染予防につき自粛）
	中旬		敬老の集い（※令和3年度、ウィルス感染予防につき自粛）
		中旬	介護施設慰問（年長組のみ）
10	9	土	生活発表会『運動会』
	中旬		保育所入所説明会（※令和3年度、ウィルス感染予防につき自粛）
			ふれあい遠足
11	中旬		作品展
		中旬	介護施設慰問（年長組のみ）
12	17	金	お餅つき
	22	水	クリスマス会・終業式
冬期自由保育開始『冬休み』			
年末年始休園			

行事のおはなし（年間行事）

・2学期（9・10・11・12月）



運動会



作品展



作品展



介護施設慰問（ハンドベル演奏会）



もちつき大会



クリスマス会

行事のおはなし（年間行事）

・3学期（1・2・3月）

春休みは、1号認定（後述）の子は、お休みとなります。

1	7	金	始業式
	13	木	かるた取り大会
2	2	水	節分会
	5	土	生活発表会『こども劇場』
	15	火	マラソン大会
	中旬		お別れ遠足（年長組のみ）
			保育まつり（年長組のみ）
	19	土	新入園児面接
3	3	木	おひな祭り会『新入園児体験保育の会』
	17	木	卒園児を送る会
	24	木	卒園式
	25	金	修了式
春期自由保育開始『春休み』			

行事のおはなし（年間行事）

・3学期（1・2・3月）



カルタ取り大会



こども劇場



こども劇場



マラソン大会



おひなまつり会



卒園式

日常の園生活のおはなし



地域ボランティアの方による
絵本読み聞かせ



リズム教室
(年少・年中・年長)



英語教室
(年中・年長)



体操教室
(年少・年中・年長)



もじかず教室
(年中・年長)



お料理保育（食育）

日常の園生活のおはなし



運動あそび



手紙をだそう



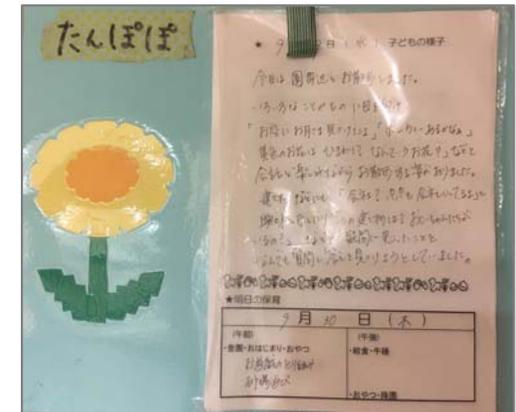
作物の収穫（食育）



防災訓練



毎月の製作



●園内の普段の様子は、できるだけ保護者の方々へ伝えるため、・玄関口における明日の予定と今日のクラスの様子をお伝えするデイリープログラムの掲示をしたり、乳児（0，1，2歳児）のクラスではおたより帳にてのやり取りも行っております。

●毎月発行のクラスだよりの裏面には、写真を載せて、日頃の様子をお伝えしております。

建物のおはなし

大生幼稚園では、幼児さん(3・4・5歳児)の幼児棟と乳児さん(0・1・2歳児)の乳児棟で建物が分かれています。

各保育室のほか、幼児棟には、遊戯室があり、劇などの発表会や卒園式を初めとしたお式の執り行いをします。
また、屋上では夏場にプールで水遊びを行います。



幼児棟



乳児棟



遊戯室

保育室のおはなし

大生幼稚園のクラス編成(令和3年度)

幼児クラス(幼児棟: さくら館)

- (5歳児 年長) まつ 1組 約30名
- (4歳児 年中) たけ 1組 約30名
- (3歳児 年少) さくら・ぼたん 2組 約15名ずつ

乳児クラス(乳児棟: さくらんぼ館)

- (2歳児) たんぽぽ・ひなぎく 2組 約15名ずつ
- (1歳児) すみれ・もも 2組 約15名ずつ
- (0歳児) ちゅうりっぷ 1組 約10名

制服のおはなし

大生幼稚園では、3・4・5歳児の幼児クラスにおいては『制服(夏服・冬服あり)』があります。

『通園カバン』に「おたより帳・給食セット・歯ブラシセット」を入れて頂き、「水筒(お茶のみ)」と一緒に持って通園して頂きます。

活動に応じて、『体操服・スモック』を着用します。

私服でも、ボタンをかけるなどの基本的な生活習慣を育むことは出来ますが、中学生・高校生のように「制服」が存在する園は全国に多くあります。

大生幼稚園では、ただ着て通うための服・園のカラーを示す服ではなくて、子どもの内から意識として、袖を通す上での気持ちというのを持てるよう、自分で身なりを整え正せるよう、制服もその他の礼服などと同じように持っている意味や意義がある事が分かるよう、想いを込めて制服を用意させて頂いております。



(幼児冬服：ブレザー・シャツ・グレーの帽子)



(幼児夏服：シャツ・ズボンスカート・麦わら帽)

制服のおはなし

●2歳児の乳児クラスでは、普段着は『体操服』となり、活動に応じて『スモック』を着用します。

『通園カバン』も使用します。

「昼寝用布団やタオル」などのご用意もお願いしております。



●0・1歳児は、制服や通園カバンはなく、私服での通園になりますが、「おむつ・手拭タオル・エプロン・タオル・着替え・哺乳瓶(マグカップ)・昼寝用布団」などが必要となります。



・0・1・2歳児の乳児クラスは、昼食をとった後、毎日お昼寝をします。

・衣類の着脱等をはじめとして、段々と出来る事を増やしていくのが乳児期ですが、自分の物と他の子の区別をつく様になっていくためにも、全ての持ち物には記名をして頂いております。

何卒、ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

入所のおはなし

幼稚園を除き、こども園、保育園においては、基本的に、
見学→入所施設を選ぶ→お住いの区役所にて入所手続き
→面接→入園 という流れになります。

『就労、産前産後、疾病、介護、育児休業、就学、求職活動』などが入所の必要要件となり、各々方の要件によって、ポイントが決められ、ポイントの高い方から優先的に入所というのが、名古屋市でのルールです。

上記要件に該当する方で、3・4・5歳の幼児の子は『**2号認定**』、0・1・2歳の乳児の子は『**3号認定**』、上記要件を満たさずに入園する子は『**1号認定**』となります。1号認定の子は、満3歳になった時点で受けられます。

■令和4年度保育所等の利用申込み手続きについて
(名古屋市ホームページ)

<https://www.city.nagoya.jp/kodomoseishonen/page/0000133178.html>



園の利用時間のおはなし

保護者の方の働く時間によって、こども園と保育園の利用時間は決められており、

● 1日上限11時間の方は、『保育標準時間認定』

● 1日上限8時間の方は、『保育短時間認定』

となり、利用時間を超えて利用する際は、『延長保育利用』の園において申請して頂く事となります。

※ 別途、お代が必要となります。

※ 『延長保育利用』を利用の際には、『就労証明書』が必要となります。

大生幼児園は、開園時間が『7：00～19：00』です。

保育時間は、『8：30～16：30』で、それを以外の時間帯の利用は、『延長保育利用』となります。

『保育短時間認定』の方は、『8：30～16：30 以外の利用において、¥200～/回』

『保育標準時間認定』の方は、『18時以降の利用において、¥200～/回』

おかねのおはなし

●無償化について

2019年10月から保育の「無償化」が始まりました。

けれどもこれは、3・4・5歳児の保育料を対象としたものである上、副食費や0・1・2歳児の保育料を初め、保育諸費(月々の教材費・主食代・絵本代、年長児のスイミング代金など)は、元々かかってくるのです…。

●保育料(行政が決めるもの)と保育諸費(園が必要とするもの)

保育料の算定と副食費の係る係らないは、世帯の収入によって、行政によって決められます。入所が役所で決まり次第、通知書が届きますので、ご確認下さい。

ご参考までに…

・「保育標準時間認定」と「保育短時間認定」で、月々の保育料は変わってきます。仕事が変わられた、保育要件が変わった際は、きちんと都度区役所で申請手続きをされる事を強くお勧めします。

・保育料については、

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-14-4-1-2-0-0-0-0-0.html>



おかねのおはなし

●その他の費用

- ・各用品代(道具箱・ハサミ・リ・クレパス・絵の具・副教材(シールあそび等))
- ・制服代
- ・縄飛びや鍵盤ハーモニカなど、各教室で使用する物
- ・園外保育費用(遠足の水族館入館料や林間お泊り保育料など)
- ・スイミング代(年長組のみ毎回)
- ・保護者会費

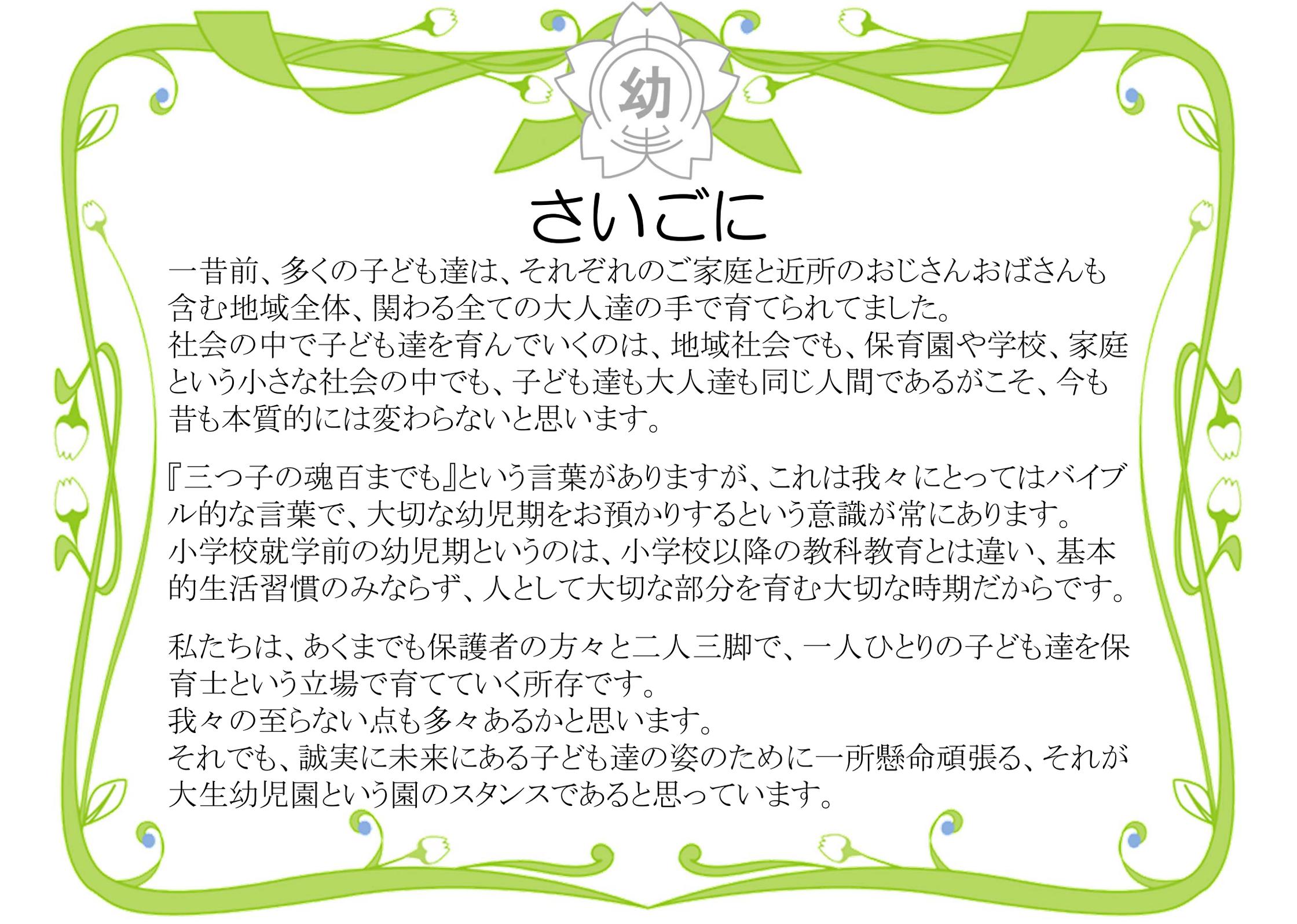
などなど・・・。

◎園からもお願い

保護者会は小学校などでいうPTAですが、保護者会の方々のご助力があって、運動会を初めとして入園式・卒園式に至るまで様々な行事が成り立っているのも事実です。

保育士を初め、園だけでは出来る限界があるからです。

保護者会は保護者の方々によって組織されるもので、毎年選出がなされますが、子ども達を想って、何卒ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



幼

さいごに

一昔前、多くの子ども達は、それぞれのご家庭と近所のおじさんおばさんも含む地域全体、関わる全ての大人達の手で育てられてきました。社会の中で子ども達を育てていくのは、地域社会でも、保育園や学校、家庭という小さな社会の中でも、子ども達も大人達も同じ人間であるがこそ、今も昔も本質的には変わらないと思います。

『三つ子の魂百までも』という言葉がありますが、これは我々にとってはバイブル的な言葉で、大切な幼児期をお預かりするという意識が常にあります。小学校就学前の幼児期というのは、小学校以降の教科教育とは違い、基本的な生活習慣のみならず、人として大切な部分を育む大切な時期だからです。

私たちは、あくまでも保護者の方々と二人三脚で、一人ひとりの子ども達を保育士という立場で育てていく所存です。

我々の至らない点も多々あるかと思えます。

それでも、誠実に未来にある子ども達の姿のために一所懸命頑張る、それが大生幼児園という園のスタンスであると思っています。